

XI 学部の点検評価および改善のためのシステム

1 茨城大学教育学部点検・評価委員会内規

(平成 27 年 11 月 18 日内規第 35 号)

改正 平成 22 年 12 月 21 日規則第 100 号 平成 27 年 3 月 26 日規則第 31 号

平成 27 年 11 月 18 日規則第 111 号 平成 28 年 3 月 19 日内規第 82 号

(趣旨)

第 1 条 この内規は、茨城大学教育学部教授会細則(平成 27 年細則第 39 号)第 7 条第 2 項の規定に基づき、茨城大学教育学部点検・評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営等に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

(1) 学部(野)の中期目標・計画及び年度計画の作成への参与とその点検・評価資料等の作成

に関する事項

(2) 各委員会及び教室・教員の活動の調査及び点検・評価に関する事項

(3) 学部において点検評価すべき事項等の検討と作業の実施に関する事項

(4) 人事評価の方法に関する事項

(5) 教員の教育、研究、地域貢献活動、学部運營業務等の調査及び点検・評価に関する事項

(6) その他学部における点検・評価に関する事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

(1) 企画運営会議の審議を経て学部長が教授会に推薦し、教授会において信任投票で承認された者 1 人

(2) 別表に掲げるブロックから推薦された者 各 2 人

2 前項各号に掲げる委員は、学部長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

2 欠員により補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、第 3 条第 1 項第 1 号の委員をもって充てる。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員の互選により定める。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 委員会において議決を要する事項については、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第 7 条 委員会において必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

(小委員会)

第 8 条 委員会に、必要に応じ小委員会を置くことができる。

2 小委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第 9 条 委員会の庶務は、教育学部事務部において処理する。

附 則

1 この規則は、平成 3 年 12 月 11 日から施行する。

2 この規則施行後、最初に委嘱される委員の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、半数の者については平成 5 年 3 月 31 日までとし、他の半数の者については平成 6 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 18 年 9 月 20 日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 22 年 12 月 21 日規則第 100 号)

平成 22 年 12 月 21 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 27 年 3 月 26 日規則第 31 号)

この規則は、国立大学法人茨城大学における学校教育法及び国立大学法人法等の一部改正に伴う学内規則等の整備に関する規則(平成 27 年規則第 31 号)の施行の日(平成 27 年 4 月 1 日)から施行する。

附 則(平成 27 年 11 月 18 日規則第 111 号)

この規則は、茨城大学教育学部及び大学院教育学研究科における規則等の体系化並びに名称変更に伴う規則等の整備に関する規則(平成 27 年規則第 111 号)の施行の日(平成 27 年 11 月 18 日)から施行し、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 28 年 3 月 19 日内規第 82 号)

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。

別表(第 3 条関係)

ブロック	教室等名
第 1 ブロック	国語教育、社会科教育、英語教育、学校教育、障害児教育、教育保健、大学院教育学研究科教育実践高度化専攻
第 2 ブロック	音楽教育、美術教育、技術教育、家政教育、情報文化、附属教育実践総合センター
第 3 ブロック	数学教育、理科教育、保健体育、人間環境教育、大学院教育学研究科学校臨床心理専攻

2 授業評価の実施

2-1 学部

2-1-1 平成 28 年度（2016 年度）授業アンケートおよび自己点検評価の実施

(1) 授業アンケートの実施趣旨と流れ

以下は授業アンケートの調査に際し配布した依頼文（前期）

平成 28 年 7 月 4 日

教育学部教員各位

教育学部 点検・評価委員会

平成28年度前期・学生授業アンケート調査の実施について（お願い）

平成28年度年度計画に基づき、学生による授業アンケート調査を行います。本調査の目的は、学部としての教育効果の向上および教員の授業・教育活動の改善にあります。

本調査は、先日確認した「指定3科目（前期1科目・後期1科目・教養1科目）」のうち、前期の教育学部専門科目（授業）について実施します。

本調査の集計・分析ができ次第、担当教員にその結果を報告します。その報告をふまえて「自己点検評価」をしていただきます。

【実施時期】

原則として授業最終回か定期試験期間中（8月2日（火）～8月8日（月））に行ってください。

【実施授業】

封筒表シールの実施科目名と、指定3科目（授業）と一致しているかご確認ください。

※ 違っている場合はお手数ですが、訂正して実施してください。

【実施方法】

1. 封筒表シールの「時間割コード、授業科目名、教員名」を板書してください。
複数のコードがある場合は、処理の都合上最初のものに統一をお願いいたします。
2. 回答用紙を受講生に配付してください。
3. 学生の代表者を決め、回答用紙回収及び教育学部学務係に届けることを依頼してください。
4. お願い文を読ませた上で、アンケートを実施してください。その際記入の注意事項を確認して下さい。

※教員は、学生のアンケートに回答中は、教室外に退席するようお願いいたします。

なお、以下についても学生にお伝え願います。

- ・ アンケートを書き終わらなかった人は個別に学務係に提出することができます。
- ・ この時間に休んだ人は学務係から回答用紙を受け取って記載し、学務係に提出できます。よろしく願います。

以下は授業アンケートの調査に際し配布した依頼文（後期）

2017（平成 29）年 1 月 6 日

教育学部教員各位

教育学部 点検・評価委員会

平成28年度後期・学生授業アンケート調査の実施について（お願い）

平成28年度年度計画に基づき、学生による授業アンケート調査を行います。本調査の目的は、学部としての教育効果の向上および教員の授業・教育活動の改善にあります。

本調査は、前期に確認した「指定3科目（前期1科目・後期1科目・教養1科目）」のうち、前期の教育学部専門科目（授業）について実施します。

本調査の集計・分析ができ次第、担当教員にその結果を報告します。その報告をふまえて「自己点検評価」をしていただきます。

【実施時期】

原則として授業最終回か定期試験期間中（2月7日（火）～2月16日（木））に行ってください。

【実施授業】

封筒表シールの実施科目名と、指定3科目（授業）と一致しているかご確認ください。

※ 違っている場合はお手数ですが、訂正して実施してください。

【実施方法】

1. 封筒表シールの「時間割コード、授業科目名、教員名」を板書してください。
複数のコードがある場合は、処理の都合上最初のものに統一をお願いいたします。
2. 回答用紙を受講生に配付してください。
3. 学生の代表者を決め、回答用紙回収及び教育学部学務係に届けることを依頼してください。
4. お願い文を読ませた上で、アンケートを実施してください。その際記入の注意事項を確認して下さい。

※教員は、学生のアンケートに回答中は、教室外に退席するようお願いいたします。

なお、以下についても学生にお伝え願います。

- ・ アンケートを書き終わらなかった人は個別に学務係に提出することができます。
- ・ この時間に休んだ人は学務係から回答用紙を受け取って記載し、学務係に提出できます。よろしくお願いいたします。

以下は授業アンケート用紙（前後期共通）

2016 (H28) 年度教育学部授業アンケート

授業科目名 時間割コード

担当教員名

専門科目における教育活動を評価し改善するために授業のアンケート調査を行っています。このアンケートを有効な資料とするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。このアンケートは皆さんの成績評価等には関係がありません。アンケートの結果は担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

回答欄の ○ を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可：●、●/ 不可：○、○、○]

問 1	この授業の初回で、授業計画（シラバス）や評価方法の説明がされましたか？								
①	十分 された	②	ある程度 された	③	わからない	④	あまり されなかった	⑤	されなかった
問 2	あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか？								
①	理解 できた	②	おおむね 理解できた	③	どちらとも 言えない	④	あまり理解 できなかった	⑤	理解 できなかった
問 3	教員の声の出し方、話し方は適切でしたか？								
①	適切 だった	②	おおむね 適切だった	③	どちらとも 言えない	④	あまり適切で なかった	⑤	適切で なかった
問 4	講義系科目はAの問に、実技・演習系科目はBの問に教えてください。								
	A：板書（プロジェクト等を含む）や資料類は、見やすく適切でしたか？ B：実演や指示は適切でしたか？								
①	適切 だった	②	おおむね 適切だった	③	どちらとも 言えない	④	あまり適切で なかった	⑤	適切で なかった
問 5	この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか？								
①	あった	②	ややあった	③	どちらとも 言えない	④	あまりなかつ た	⑤	なかった
問 6	この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか？								
①	向上した	②	おおむね 向上した	③	どちらとも 言えない	④	あまり向上 しなかった	⑤	向上 しなかった
問 7	あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、 授業時間以外に毎週の程度時間をとりましたか？								
①	2時間 以上	②	1時間以上	③	30分以上	④	30分未満	⑤	ほとんど とらなかった
問 8	あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか？								
①	満足 した	②	おおむね 満足した	③	どちらとも 言えない	④	やや不満であ った	⑤	不満で あった
問 9	この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。 (コピーの形で授業担当者に示されますので、濃く丁寧に書いてください)								

(2) 自己点検評価の実施趣旨と流れ

以下、点検評価委員長による実施依頼文。

平成 28 年 6 月 13 日

平成 28 年度教育改善評価（授業アンケート）3 科目指定のお願い

教育学部では、指定 3 科目（学部専門前期 1 科目・後期 1 科目、および教養科目 1 科目）を対象に、授業アンケート調査を行い、その結果を参照して「自己点検評価書」を作成することで、教育改善点検評価を実施しています。大変お忙しいとは存じますが、今年度もご協力をお願いいたします。

- (1) 下記回答フォームに、時間割コード（シラバスコード）、科目名（授業題目）を記入して、このメールに返信下さい。
- (2) アンケート 回答用紙配布のため、受講人数を把握する必要があるため、複数の時間割コードがある授業については、漏れなく記入してください。
- (3) アンケート実施日時は、原則として授業最終回か定期試験期間中に行います。

締め切り 6 月 24 日（金）

回答フォーム

1. 前期専門科目

時間割コード：

科目名：

2. 後期専門科目

時間割コード：

科目名：

3. 教養科目

シラバスコード：

授業題目：

平成 28 年 7 月 27 日

「H27 年度分_教育改善評価」のお願い

例年のことで恐れいますが、今回も「H27 年度分_教育改善評価」をお願い致します。
すでに H27 年度の前期分は終了済と思いますので、昨年の後期分、および H27 年度を通した自己点検をお願い致します。

添付のマニュアルには各種機能について掲載されておりますが、*〆*切にまでお願いしたいのが、

- 2-1) 教育改善評価の実施-各科目編-
- 2-2) 教育改善評価の実施-総括編-
- 3) 指導学生の修正
- 4) 分担率変更、メンバー修正

でございます。

2-1) に関しましては、システム構成上、すべてのご担当科目につきまして評価で可能になっておりますが、「学生アンケート」を実施した三科目のうち、後期のみで結構でございます（本システムにログインした際、頻度分布図の下に [学生授業アンケート結果] と青字で表記されておりますのが、その科目です）。

以上、「H27 年度_教育改善評価」の実施の*〆*切を

平成 28 年 8 月 24 日（水）15:00

とさせていただきます。*〆*切までの時間が短いこと、改めてお詫び申し上げます。

本メールに添付させて頂きました添付ファイル

・教育業務評価の実施方法

をご参照の上、評価作業の方、よろしくお願い致します。

平成 28 年 12 月 1 日

平成 26-27 年度（2014-15 年度）教員業務評価に関するデータ入力のお祝い

11/24 付けで、今年度、「教員業務評価」を実施することが決定いたしました。これまで平成 19 年度、21 年度、23 年度、25 年度と四度実施しており、それらと同様、平成 26 年～27 年度の「教育、研究、社会貢献、校務」活動・業績等に対する評価でございます。

皆様には、タイトなスケジュールで大変ご迷惑をお掛けいたします。今後、

- 1) 12/2 まで 「研究者情報管理システム」へのデータの入力（特に、平成 26 年～27 年度の活動・業績等について）
 - 2) 12/7～12/15 上記データの確認
 - 3) 12/21～ 教員業務評価の実施
- という流れでございます。

本日のお願いは、上の 1) についてです。

御多忙のところ恐れ入りますが、以下の URL からご自身のページにログイン頂き、

・平成 28 年 12 月 2 日（金）の 18:00 までに

平成 26 年～27 年度の「教育、研究、社会貢献、校務」活動・業績等についてのご入力の方、何卒よろしくお願い申し上げます。

<https://info-e.ibaraki.ac.jp/scripts/update/index.htm>

平成 28 年 12 月 14 日

教員業務評価の実施、データの確認

先にお願ひし、皆様にご入力頂きました「研究者情報管理システム」の情報が、「教育改善情報提供システム」に切り出されアップロードされました。つきましては、ご確認の上、教員業務評価の実施をお願ひ致します。やり方に関しましては、4 年前、2 年前から変更はございません。詳細につきましては、ダウンロード頂いたファイルに詳細な記述がございます。そちらの方、ご確認お願ひ致します。

各種業務のなか、大変心苦しいのですが、本作業を 12/26 (月) 昼 12 時までお願ひ致します。御多忙のところ誠に申し訳ございません。

手順ですが、

1) 以下の URL にログイン。

<https://db.ibaraki.ac.jp/ir/eduact2/index.php>

2) 氏名の直下にある、[年報の原稿・教員評価自己点検評価票：(未確認)]をクリック。

3) 青字で記載されている [教員評価自己点検評価票 (MS-Word)] をクリック (ダウンロードされる)。

4) ダウンロードされたワードファイルを開き、確認。

5-1) 修正点・追加の情報がある場合 → 本メールのうしろでご説明致します。

5-2) 修正点・追加の情報がない場合

・ 1. 教育活動、b) 論文指導実績に、卒業研究指導学生の人数、修士研究指導学生の人数を入力。

・ ワードファイルの説明を読みつつ、ピンク色に塗られた箇所を入力後、保存 (この際、ファイル名は変更しないで下さい)。

・ 再び、インターネットの「年報の原稿・研究外部評価調査票」のページに戻り、3 の「ファイル選択」「登録」。

6) 終了。

【修正箇所、追加の情報がある場合】

a) 12/19 前に本作業を行う場合は、以下の URL

<https://info-e.ibaraki.ac.jp/scripts/update/index.htm>

を開き、「研究者情報管理システム」の元データを加筆・修正願ひます。そこで加筆・修正されたデータが、12/21 には「教育改善情報提供システム」に切り出されアップロード

される予定です。12/21 以降、再度、上の 1) 以降の手順で作業を進めて頂ければと存じます。

b) 12/19 以降に本作業を行う場合は、

1) 以下の URL にログイン。

<https://db.ibaraki.ac.jp/ir/eduact2/index.php>

2) 氏名の直下にある、[年報の原稿・教員評価自己点検評価票：(未確認)]をクリック。

3) 青字で記載されている [教員評価自己点検評価票 (MS-Word)] をクリック (ダウンロードされる)。

4) ダウンロードされたワードファイルを開き、確認。

5-1) 修正点・追加の情報がある場合は、ダウンロードしたワードファイルを直接、加筆・修正する。また、

・ 1. 教育活動、b) 論文指導実績に、卒業研究指導学生の人数、修士研究指導学生の人数を入力。

・ ワードファイルの説明を読みつつ、ピンク色に塗られた箇所を入力後、保存 (この際、ファイル名は変更しないで下さい)。

・ 再び、インターネットの「年報の原稿・研究外部評価調査票」のページに戻り、3の「ファイル選択」「登録」。

6) 終了。

御不明な点は、伊藤 (内線 8268) まで、技術的な点に関しては、大学戦略・IR 室 (内線 8572, ir-office@ml.ibaraki.ac.jp)

平成 28 年 2 月 24 日

平成 27 年度年報原稿の確認

システム上で H27 年度部の年報データをご確認頂ける状態となりました。

URL は以下の通りです。

<https://db.ibaraki.ac.jp/ir/eduact2/index.php>

今回は、教員業務評価もあり、かなり念入りにご入力頂いておりますが、念のためのご確認お願い致します。

本メールにマニュアルを添付致しますので、それをご参照下さい（昨年までと全くやり方は同様です）。

なお、先の教員業務評価では、「アップロードがうまくいかない」という声を多数頂きました。

もし、そのような場合は、あまり頑張らず、修正・確認したファイルをメール添付で本部 AP 事業室の畠田先生までメール添付でお送り頂ければと存じます。

畠田先生のアドレス

toshiyuki.shimada.ir@vc.ibaraki.ac.jp

御多忙の中、誠に恐れ入りますが、

●3/2（木）朝 8 時まで

をお願い致します。

なお、今回は、3/2 の朝 8 時までにご対応頂けない場合は、現在の原稿のまま年報原稿とさせていただきます。どうかご容赦下さいませ。

2-1-2 授業公開

後期公開期間：平成 29 年 1 月 6 日（金）～23 日（月）

平成 28 年度授業公開一覧

下記の授業を 1 月 6 日（金）～23 日（月）の間、公開いたします。

授業科目名	担当教員	曜日・講時	教室	備考
郷土の言葉	川嶋 秀之	月・5	B203	
書道Ⅱ	齋木 久美	金・2	D101	
漢文学演習（Ⅰ）	増子 和男	火・3	B205	
初等国語科教育法（C）	昌子 佳広	月・3	B204	
初等国語科教育法（D）	鈴木 一史	月・3	B205	学生による 模擬授業
合唱	谷川 佳幸	木・2	C401	
シミュレーション技法	野崎 英明	月・5	B202	
製図Ⅱ	野崎 英明	金・2	B202	
教育の本質と理念	小川 哲哉	木・1	D101	

2-2 大学院教育学研究科

2-2-1 平成 28 年度授業アンケート

以下は配布したアンケート用紙である。授業の形式により、2 つのアンケート用紙を用意し形式にあった方のアンケートに回答してもらった。A タイプ：演習形式、B タイプ：講義形式。

平成 28 年度教育学研究科授業アンケート (A タイプ：演習形式)

授業科目名 () 曜日 月 火 水 木 金
 担当教員名 () ① ② ③ ④ ⑤
 開講時期 (前期 後期 通期 集中) ① ② ③ ④ 講時 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

これは、本研究科の教育活動を評価し改善するための授業アンケートです。このアンケートを有効な資料とするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。回答は皆さんの成績には関係ありません。アンケート結果は集計の後担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

次の問 1～8 について、該当する選択肢の番号を黒く塗りつぶしてください。問 9 は自由記述です。

問 1 この授業の初回で、授業計画（シラバス）や評価方法の説明がされましたか。	されな かった	あまり されな かった	わか らな い	ある程 度され た	十分 さ れた
	①	②	③	④	⑤

問 2 あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか。	理解で きな かった	あまり 理解で きな かった	どちら とも 言 えない	お お む ね 理 解 でき た	理解 でき た
	①	②	③	④	⑤

問 3(a) あなたはこの授業で、充実した話し合い活動ができましたか。	全く でき な か った	あまり でき な か った	どちら とも 言 えない	ある程 度 でき た	十分 で き た
	①	②	③	④	⑤

問 3(b) 授業で他の発表を聞いて、テーマに対する興味関心が広がり、授業に対して積極的な取り組みができましたか。	全く でき な か った	あまり でき な か った	どちら とも 言 えない	ある程 度 でき た	十分 で き た
	①	②	③	④	⑤

問 4 あなたはこの授業の参考資料類を有効に活用できましたか。	全く でき な か った	あまり でき な か った	どちら とも 言 えない	ある程 度 でき た	十分 で き た
	①	②	③	④	⑤

問 5 この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。	な か つ た	あ ま り な か つ た	ど ち ら も 言 え な い	や や あ つ た	あ つ た
	①	②	③	④	⑤

<p>問 6 この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">向上し なかつ た</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">あまり 向上し なかつ た</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">どちら とも言 えない</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">おおむ ね向上 した</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">向上し た</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </table>	向上し なかつ た	あまり 向上し なかつ た	どちら とも言 えない	おおむ ね向上 した	向上し た	①	②	③	④	⑤
向上し なかつ た	あまり 向上し なかつ た	どちら とも言 えない	おおむ ね向上 した	向上し た							
①	②	③	④	⑤							
<p>問 7 あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間をとりましたか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">ほとん どとら なかつ た</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">30 分未 満</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">30 分以 上</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">1 時間 以上</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">2 時間 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </table>	ほとん どとら なかつ た	30 分未 満	30 分以 上	1 時間 以上	2 時間 以上	①	②	③	④	⑤
ほとん どとら なかつ た	30 分未 満	30 分以 上	1 時間 以上	2 時間 以上							
①	②	③	④	⑤							
<p>問 8 あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">不満で あった</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">やや不 満であ った</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">どちら とも言 えない</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">おおむ ね満足 した</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">満足し た</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </table>	不満で あった	やや不 満であ った	どちら とも言 えない	おおむ ね満足 した	満足し た	①	②	③	④	⑤
不満で あった	やや不 満であ った	どちら とも言 えない	おおむ ね満足 した	満足し た							
①	②	③	④	⑤							
<p>問 9 この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 300px; margin-top: 10px;"></div>											
<p>ありがとうございました。</p>											

平成 28 年度教育学研究科授業アンケート (B タイプ: 講義形式)

授業科目名 () 曜日 月 火 水 木 金
 担当教員名 () ① ② ③ ④ ⑤
 開講時期 (前期 後期 通期 集中)
 ① ② ③ ④ 講時 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

これは、本研究科の教育活動を評価し改善するための授業アンケートです。このアンケートを有効な資料とするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。回答は皆さんの成績には関係ありません。アンケート結果は集計の後担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

次の問 1～8 について、該当する選択肢の番号をそれぞれ一つ黒く塗りつぶしてください。問 9 は自由記述です。

問 1 この授業の初回で、授業計画（シラバス）や評価方法の説明がされましたか。	されな かった	あまり されな かった	わから ない	ある程 度され た	十分さ れた
	①	②	③	④	⑤
問 2 あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか。	理解で きなか った	あまり 理解で きなか った	どちら とも言 えない	おおむ ね理解 できた	理解で きた
	①	②	③	④	⑤
問 3 教員の声の出し方、話し方は適切でしたか。	適切で はなか った	あまり 適切で なかつ た	どちら とも言 えない	おおむ ね適切 だった	適切だ った
	①	②	③	④	⑤
問 4 板書（プロジェクタ等を含む）や資料類は、見やすく適切でしたか。	適切で はなか った	あまり 適切で なかつ た	どちら とも言 えない	おおむ ね適切 だった	適切だ った
	①	②	③	④	⑤
問 5 この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。	なかつ た	あまり なかつ た	どちら とも言 えない	ややあ った	あった
	①	②	③	④	⑤

<p>問 6 この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">向上し なかつ た</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">あまり 向上し なかつ た</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">どちら とも言 えない</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">おおむ ね向上 した</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">向上し た</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </table>	向上し なかつ た	あまり 向上し なかつ た	どちら とも言 えない	おおむ ね向上 した	向上し た	①	②	③	④	⑤
向上し なかつ た	あまり 向上し なかつ た	どちら とも言 えない	おおむ ね向上 した	向上し た							
①	②	③	④	⑤							
<p>問 7 あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間をとりましたか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">ほとん どとら なかつ た</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">30分未 満</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">30分以 上</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">1時間 以上</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">2時間 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </table>	ほとん どとら なかつ た	30分未 満	30分以 上	1時間 以上	2時間 以上	①	②	③	④	⑤
ほとん どとら なかつ た	30分未 満	30分以 上	1時間 以上	2時間 以上							
①	②	③	④	⑤							
<p>問 8 あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">不満で あった</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">やや不 満であ った</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">どちら とも言 えない</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">おおむ ね満足 した</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">満足し た</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </table>	不満で あった	やや不 満であ った	どちら とも言 えない	おおむ ね満足 した	満足し た	①	②	③	④	⑤
不満で あった	やや不 満であ った	どちら とも言 えない	おおむ ね満足 した	満足し た							
①	②	③	④	⑤							
<p>問 9 この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; margin-top: 10px;"></div>											
<p>ありがとうございました。</p>											

3 FD の実施

3-1 平成 28 年度の FD 実施状況

教職員が参加した FD 一覧（平成 28 年度分）

年月日	担当委員会等	題 目	講演者	実施場所	参加人数
平成 28 年 6 月 15 日	教育学部	平成 27 年度教育学部卒業アンケート結果と質保証に関する FD	大学戦略・IR 室 准教授 畠田敏行	教育学部 プレゼン テーショ ンルーム	86 名
平成 28 年 8 月 3 日	教育学部	免許法改正に伴う課程認定に関する FD	学務課専門職員 菊 池昌彦	教育学部 プレゼン テーショ ンルーム	87 名
平成 28 年 9 月 21 日	教育学部研 究・教育支援 委員会	科研費申請に関する FD	大学戦略・IR 室 URA 平山太一 教育学部教授（研 究・教育支援委員 長） 勝二博亮	教育学部 プレゼン テーショ ンルーム	83 名
平成 28 年 10 月 19 日	教育学部教務 委員会	教職実践演習 FD	教務委員会教職実 践演習 WG	教育学部 プレゼン テーショ ンルーム	42 名
平成 29 年 1 月 18 日	教育学部教務 委員会	新カリキュラムに関する FD	教育学部教授（教務 委員長） 野崎英明	教育学部 プレゼン テーショ ンルーム	94 名